

BRAHMS

ドイツ・レクイエム

Ein deutsches Requiem

運命の歌
Schicksalslied

■ 文京シティ・コア
第14回定期演奏会

プログラム

第一部 ブラームス／運命の歌

休憩

第二部 ブラームス／ドイツ・レクイエム

2014年4月29日（火・祝日）14：30

文京シビック大ホール

ソプラノ 佐竹由美
バリトン 田代和久

指揮 辻 秀 幸

合唱 文京シティ・コア

管弦楽 東京バッハ・カンタータ・アンサンブル

主催 文京シティ・コア

後援 文京区教育委員会

JCDM 日本合唱指揮者協会

BRAHMS／
Schicksalslied Op.54

ブラームス／
運命の歌 作品54

Ihr wandelt droben im Licht auf weichem Boden,
selige Genien !

柔らかい大地の上に光の中を逍遙する汝等精霊達よ！

— 休 憩 —

BRAHMS／
Ein deutsches Requiem Op.45

ブラームス／
ドイツ・レクイエム 作品45

- 1 Chor : Selig sind, die da Leid tragen
- 2 Chor : Denn alles Fleisch, es ist wie Gras
- 3 Bariton-Solo und Chor : Herr, lehre doch mich, daß ein Ende mit mir haben muß
- 4 Chor : Wie lieblich sind deine Wohnungen, Herr Zebaoth
- 5 Sopran-Solo : Ihr habt nun Traurigkeit
Chor : Ich will euch trösten, wie einen seine Mutter tröstet
- 6 Chor : Denn wir haben hie keine bleibende Statt
- 7 Chor : Selig sind die Toten, die in dem Herren sterben, von nun an

- 1 合唱 : 悲しんでいる人達は幸いである
- 2 合唱 : 人はみな草のごとく
- 3 バリトンソロと合唱 : 主よ、わが終わりと、わが日の数がどれほどであるかをわたしに知らせ
- 4 合唱 : 万軍の主よ、あなたの住まいはいかに麗しいことでしょう
- 5 ソプラノソロ : あなたがたにも今は不安がある
合唱 : 母がその子を慰めるように、私もあなたがたを慰める
- 6 合唱 : この地上には永遠の都はない
- 7 合唱 : 今から後、主にあつて死ぬ死人はさいわいである

本日は文京シティ・コア第14回定期演奏会にお越し頂き、誠にありがとうございます。団員一同心から厚く御礼申し上げます。

当団は文京区教育委員会が主催した「混声合唱講習会」の修了生により結成されました。

当時、講習会の講師として辻 秀幸氏を熱望した結果、2期にわたりそれが実現しました。その後、そのまま修了生が中心となって、1993年（H・5）2月に結成された次第です。

以来今日まで辻 秀幸先生にご指導頂き、ピアニストやヴォイス・トレーナーそしてドイツ語指導者に恵まれ、演奏会にはオーケストラの皆さまに支えられて歌い続けていられることに感謝いたしております。

団員一同、会場の皆様と共用できるひと時と舞台に立てる喜びをかみしめて演奏に臨みたいと思います。

指揮／合唱指導 辻 秀幸

本日は文京シティ・コアの演奏会によるこそおいでくださいました。

本日演奏させて頂きます最初の作品はヨハネス・ブラームス作曲の「運命の歌」です。この短い楽曲はドイツの詩人ヘルダーリンの頌歌・小説「ヒューペリオン」の中の詩にブラームスが作曲したのですが、前半は天の御国でストレスなく暮らす魂を描き、後半は現世でもがき苦しむ人生の苦悩を描きます。（決して天の御国での生活を肯定している様には響いて来ないところがまた面白いのですが…）

そして休憩を挟んでの第二部では本日のメインステージ、やはりブラームス作曲の「ドイツ・レクイエム」を演奏致します。

ブラームスはドイツレクイエムを敢えて通常使われるレクイエムの式文とは別のテキストをルターの訳した独語聖書の中からチョイスして、独自のレクイエムを母国語で書き上げました！

そこには押し付けがましい教示も、死への恐怖心を煽る様な箇所も有りません！

ブラームスを世に出したロベルト・シューマンの死去により構想されたと言われるこのドイツ・レクイエムは幾度かの部分初演を重ね、1869年2月に全楽章の初演が果たされました。今からちょうど145年前の事です。

人はこの世に生を受ける前にはどこに存在していたのか!? そして死後は何処へ行くのか!?

これら大きな希望・期待を込めて論じ続けられて来た人類永遠の疑問は決して生前に答えを見出す事は出来ません。私自身その手の文献に共著者として名を連ねる者として申し上げにくいのですが、日本人として生きて来た私にはカトリックのレクイエムの通常の式文にはいささか抵抗のあるところです。

私は実は日本基督教団のプロテスタント信者なのですが、同じプロテスタントであったブラームスがこれらのテキストを選ばれた事には非常に感動・共感させられると同時に、その精神的基盤が非常に我々日本人が考える「美德」に通ずる部分の多い事に気付かされるのです。

この曲は教会での演奏を意識して書かれた曲では無く、あくまでもコンサート用に書かれたものでありましょう。であるからこそ、それがいかなる宗教宗派を信じているかを問わずして心に染み入って来ることを字幕の文面から御理解頂けるのではないのでしょうか!?

詳しい楽曲解説はいつもこの合唱団の名解説を担当される石川仁氏の文章を御読み頂きたいと存じます。

耐え忍び喜びの時を待つ 神様に抱かれて安らかなる時を迎える！

我々は母親の羊水の中から大気中へと大きな環境の変化、おそらくは大きな苦しみを乗り越えてこの世に生まれて来た筈です。そして我々は死を迎えるその時も恐らくそうした大きな環境の変化を体験する事と成るのでしょう。その時にこそ我々は祝福されて次の未知の世界へと胸膨らませて新たに生まれたいと願うのです。

日本人は忍耐強く我慢強いと言う美德が世界中で報道される一方で、巧妙な嘘、言い逃れ、誤魔化しが露呈してきた昨今、本日の作品のテキストから学ぶべきことは少なくないと思いますが、果たして皆様は「ブラームスはお好き」でしょうか!?

「ドイツレクイエム」(ブラームス) 解説

《ブラームス》

ブラームス(1833~1897年)はドイツのハンブルクの生まれで父から音楽の手ほどきを受け、ヴァイオリン、チェロを学び、10歳にして室内楽のピアノを受け持ち、才能を発揮しておりました。バッハ、ベートーベンの古典音楽を習得し、作曲家としての素地が形成されて行きました。19世紀後半のロマン派作曲家として位置づけられますが作風は古典派音楽の保守主義を貫いた作曲家と言われます。

20歳にしてシューマンからも才能が認められ、その家族との交流にまつわる話はあまりにも有名で、映画にもなっています。クララシューマンとの恋心はやがて最も親しい友人関係として生涯に亘って親交を結び、また多くの著名な音楽家との交流があつて、音楽家として大成しました。

ブラームスは1857年合唱の指揮を手掛けるようになり、1863年ウイーンの合唱団ジンクアカデミーの指揮者に招かれ、合唱音楽に親しみました。これを機にウイーンに活動の拠点を移し、晩年はウイーン楽団の重鎮として不動の地位を築きました。ウイーンのムジークフェライン(楽友協会)の小ホールにはブラームスの胸像が置かれ、ブラームスホールと名付けられております。死後、ベートーベン、シューベルトなど共にウイーンの中央墓地の同じ区画で眠ります。

《ドイツレクイエムの特徴》

良く演奏され親しまれているレクイエムはモーツァルト、フォーレ、ヴェルディ等の作

品です。ブラームスのレクイエムもこれらに劣らず人気があります。レクイエムという名称は冒頭の歌詞である「レクイエム エテルナム ドナエイス ドミネ」の「レクイエム」から採られ、日本語で「鎮魂ミサ曲」と訳されています。「永遠の安息を彼らに与え給え」から死者を弔い、死者の霊を鎮魂する音楽です。

一方、ブラームスの「ドイツレクイエム」は題名こそレクイエムですが、この言葉は歌詞には使われません。7曲からなり、見かけ上ラテン語のレクイエムとの共通性もありますが、多くの点で異なります。プロテスタントであり、聖書にも通じていたブラームスは独自に聖書の言葉から歌詞を取り入れました。

キリスト教の死生観を基に聖書から慰めの言葉を拾いました。しかもドイツ語で書かれています。死者の霊を悼むという発想ではなく、現世を生きる人間が、聖書の教えに基づき、神に希望を託し、永遠の命を得て、慰めが得られる内容としました。別表にカトリック教会のレクイエムとの違いをまとめました。

作曲の経緯について様々な説があり、憶測も語られていますが必ずしも定説となっておりません。作曲にまつわるエピソードもあまり残っておりません。恩師であるシューマンの悲劇的な死(1856年)や母親の死(1865年)に対して哀悼の念を抱いたことは事実であります。

前述の通り1863年ウイーンの合唱団ジンクアカデミーの指揮者に招かれ、合唱音楽に積極的に関わることとなります。1867年から72年の5年間に器楽曲ではなく声楽曲の創作に

力を入れた時期があり、「ドイツレクイエム」の完成時期とも合致します。ついで乍ら「運命の歌」もこの時期に当たる1871年に完成しています。合唱活動に関わった期間、以前からその意図を持っていたレクイエムの完成に駆り立てられたように思われます。

1859年に第2曲に着手、最後に第5曲が作曲され約10年の歳月をかけて1868年に完成を見ます。この間演奏も断片的に行われていましたが、全体が完成して全7曲の演奏は1869年にライプチヒのゲヴァントハウスにおいて初演されました。「ドイツレクイエム」の完成はブラームスの作曲家として不動の地位を築きました。

「運命の歌」(ブラームス) 解説

ブラームスは「ドイツレクイエム」を完成の直後、1868年夏友人の住む北海に赴き、そこでヘルダーリンの詩に接します。この「運命の歌」の詩に心を打たれ、作曲に取り掛かりますが、完成は3年後の1871年になります。この詩は、ギリシア神話への憧憬と共に永遠の至福に満ちた天上の清らかな世界に思いを

馳せ、後半は現世の苦悩と不安にさいなまれる様子を対比させます。ブラームスは作曲に当たり、この救いのない終わり方を受け入れがたく、音楽的には合唱が終わった後、管弦楽の後奏を置くことによって解決しました。

曲は、先ず管弦楽による導入部（前奏）があり、ゆっくりとして憧れに満ちた天上の美しい描写に始まります。やがて合唱が静かに加わって、「あなた方は天国で光の中の柔らかな地を歩みます。…」と柔和な表情で歌い、「純潔なままあなた方の魂は、永遠の花を開きます…」と続きます。

この後、一転して曲は荒々しくオーケストラが不気味で不安な世界を奏でます。これをバックに合唱が「…されど我らにはやすらう所もない。」と現世の不安を激しく訴えます。興奮が静まり、この言葉を繰り返して歌います。再度「…やすらう所もない」が激しく歌われ次第に静まって行きます。

合唱は終わりますが、オーケストラの長い後奏が続き、一段と明るく柔和に満ちた音楽に仕立てられ、希望と慰めを以て終結します。

(バス) 石川 仁

レクイエムの構成比較表

ブラームスのドイツレクイエム		モーツァルトのレクイエム	
	見出しと聖書の引用	見出し	内 容
1	悲しんでいる人々は幸いである 全曲の序奏でもあり、合唱で歌われるモチーフ(動機)は全曲の基本的動機となる。(マタイによる福音書、詩編126編)	入祭文 レクイエムエテルナム	永遠の安息を彼ら(死者)に与えたまえ。絶えざる光を彼らの上に照らし
2	人は皆草のごとく 前半は葬送行進曲のように進行し、後半は長大なフーガで歓喜の合唱となる。(ペテロの手紙、ヤコブの手紙)	昇階誦・詠誦 レクイエムエテルナム	永遠の安息を彼らに… 正しき者は永遠に記念せられんすべての死せる信者の魂を救い刑罰の宣告より免れしめ…
3	主よ、我が終わりと、我が日の数のどれほどかを バリトンの独唱に導かれ、全曲を通じて最も重要な部分、後半は合唱のフーガが展開される。(詩編39編5〜7節、知恵の書)	統誦 怒りの日(Dies irae)、レックス・トレメンダ、ラクリモーザ など	かの目こそ怒りの日なり 人々の恐れ、おののきは如何にあらん。慈悲深い主イエズスよ、永遠の安息を彼らに与えたまえ アーメン
4	万軍の主よ、あなたの住まいは オーケストラは弦が中心でトランペット、とローンボーンを加えず緊張感与えない。後半は二重フーガ(詩編84編)	奉献文 ドミネ イエズス	主イエズスキリスト、すべて死せる信者の魂を救い給え これぞ主が約束せしものなる
5	このように、あなた方にも今は ソプラノの独唱に導かれ、愛情に満ちた美しい曲。あたたかも母親が歌う子守唄の如くに。これに呼応するよう合唱がコーラル風に歌う。(ヨハネによる福音書、イザヤ書)	サンクトゥス、ベネディクトゥス 神への賛歌	聖なるかな、聖なるかな 主の栄光は天と地に満ち満ちて…いと高きところまで ホザンナ
6	この地上に永遠の都はない ラテン語の「怒りの日」に相当する。バリトンの独唱に導かれ、第2曲に劣らず壮大なフーガが展開。(ヘブルの信徒への手紙、コリントの信徒への手紙一)	アニムス・デイ 神の小羊	世の罪を除き給う天主(神)の子羊 我らを憐れみ給え
7	今から後、主において死ぬ人は幸いである 終曲 静けさを取り戻し、ソプラノのパートソロに導かれ、第1曲のモチーフを思わせる展開。フーガの合唱に引き継がれる。(ヨハネ黙示録4章)	聖体拝領誦 永遠の光を、主の聖人と共に…	我らに平安を与え給え

プロフィール

指揮／合唱指導 辻 秀 幸

幼少よりヴァイオリン・ピアノ・フルート・金管楽器・作曲を学び、東京芸大声楽科及び同大学院独唱科修了。声楽を渡邊高之助、宗教音楽を小林道夫、佐々木正利の各氏に師事。1985年イタリアのミラノを中心にヨーロッパへ音楽遊学。L. グッアリーニ女史、F. タリアヴィーニ、H. リリングの各氏に師事。1986年イタリアのノバラ市国際声楽コンクール入賞。ドイツのハイデルベルク、ウィーン楽友協会大ホール他、数都市でベートーヴェン“第9”のソリストを務め、ヨーロッパの主要都市でコンサートに出演し好評を博す。国内でもドイツ・イタリア・日本歌曲を中



心に各地でユニークなリサイタル活動を展開し、オペラでは古典から現代に至るまで、数多くの作品に出演し、その優れた演技力と歌唱は、新聞・音楽誌上でも度々絶賛された。宗教音楽の演奏家としての活躍は特に目覚ましく、バッハ・ヘンデル・ハイドンの宗教曲・オラトリオの演奏では、ソリスト・エヴァンゲリスト・また指揮者として、その活動は常に注目を集めている。現在指導に当たっているアマチュア合唱団は十数団体を数える。共著に『わかって歌おうシリーズCD付き解説書：レクイエム発音講座／フィガロの結婚』が有る。

洗足学園音楽大学客員教授 ぐるーぷ なーべ幹事 日本合唱指揮者協会副理事長 東京都合唱連盟理事 Ensemble BWV2001メンバー。文京シティ・コアでは創立以来定期演奏会を指揮している。

ソプラノ

佐 竹 由 美

東京芸術大学及び同大学院博士課程修了。博士号を取得。在学中、東京藝大「メサイア」公演のソリストとしてデビュー。学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂にて御前演奏の栄を授かる。ロータリー国際親善奨学生として渡伊。第53回日本音楽コンクール第2位入賞、同時に最高位に贈られる福沢賞受賞。イタリア・ノバラ市国際声楽コンクール第2位入賞。ライブツィヒ第8回バッハ国際コンクール第4位入賞。バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「カンタータ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」「ハ短調ミサ」、ハイドン「天地創造」等、宗教作品のソリストとしての活躍は目覚ましく、その確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱が最大の魅力で常に高い評価を得ている。また現代作品においても作曲家諸氏から絶大なる信頼を得て数多くの新作作品の紹介に関わっている。大学院博士課程においてはS・バーバー、A・コープランドなど、20世紀アメリカ芸術歌曲をテーマに研究・演奏を行う。オペラにおいても二期会、東京室内歌劇場、日本オペラ振興会などに主要キャストとして活躍、近年はチェステイ、ヘンデル、パーセルなどのバロックオペラにも出演、好評を博す。2009年文化庁芸術家在外研修員としてニューヨークにて研鑽を積む。よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞受賞。国立音楽大学、東京芸術大学非常勤講師。Ensemble BWV2001メンバー 二期会会員。



バリトン

田 代 和 久

東京学芸大学、同大学院を経て東京芸術大学大学院修了。芸大定期バッハ「マタイ受難曲」「カンタータ147番」をはじめ、ヘンデル「メサイア」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」他数多くの宗教曲のソリストを務める。東京オペラ・プロデュースを中心にプッチーニ「蝶々夫人」、ワーグナー「恋愛禁制」、ヴェルディ「二人のフォスカリ」、R. シュトラウス「カプリッチョ」、モーツァルト「偽の女庭師」他多数のオペラに主要な役で出演。日本演奏連盟主催「演連コンサート」などのリサイタルをはじめドイツ・日本歌曲を中心に幅広くコンサート活動を行う。第65回日本音楽コンクール、第35回日伊声楽コンクール入選。第10回奏楽堂日本歌曲コンクール奨励賞。第6回J.S.G国際歌曲コンクール・シニア部門第3位。第10回日本声楽コンクール第1位ならびに田中路子賞受賞。アンサンブルBWV2001メンバー。日伊音楽協会会員。二期会会員。常葉大学教育学部准教授。



- 1993年 2月 文京区教育委員会主催「混声合唱講習会」1、2期修了生が中心になり結成され、以来辻秀幸氏に指導を受ける。
- 1993年11月 1日 【第1回定期演奏会】川口リリアホール フォーレ／レクイエム、小ミサ曲
- 1995年 4月14日 【第2回定期演奏会】北とぴあさくらホール ハイドン／四季
- 1996年 3月16日 《文京区民オーケストラ第3回定期演奏会》賛助出演 北とぴあさくらホール ベートーヴェン／合唱幻想曲
- 1996年11月16日 【第3回定期演奏会】新宿文化センター ハイドン／天地創造
- 1997年 2月16日 《東京国際フォーラムオープニングイベント》出演 東京国際フォーラムホールA
ハイドン／天地創造
- 1997年10月 5日 《ドニゼッティ生誕200年記念東京公演》出演 北とぴあさくらホール ドニゼッティ／レクイエム
- 1997年11月 《ドニゼッティ生誕200年記念北イタリア演奏旅行》参加 ボルツァーノ・クルトハウス
ドニゼッティ／レクイエム
- 1999年 3月14日 【第4回定期演奏会】すみだトリフォニーホール オルフ／カルミナ・ブラーナ
- 2000年 3月12日 《文京区民オーケストラ&文京シティ・コアドイツ演奏旅行プレコンサート》北とぴあさくらホール 第九他
- 2000年 5月1日～4日 《文京区民オーケストラ&文京シティ・コア ドイツ演奏会》カイザースラウテルン市、パッサウ市 第九他
- 2000年 7月18日 【第5回定期演奏会】文京シビック大ホール バッハ／カンタータ80番、マニフィカート、ミサイ長調
- 2001年12月21日 【第6回定期演奏会】文京シビック大ホール バッハ／クリスマス・オラトリオ
- 2002年 9月28日 《第57回東京都合唱コンクール》審査員奨励賞受賞 文京シビック大ホール メンデルスゾーン／エリヤより
- 2002年11月 8日 《文京福祉チャリティーコンサート》東京交響楽団と共演 文京シビック大ホール
メンデルスゾーン／エリヤ他
- 2003年 6月22日 【第7回定期演奏会】文京シビック大ホール メンデルスゾーン／エリヤ
- 2004年11月13日 【第8回定期演奏会】【マタイを歌う会第5回演奏会】合同公演 文京シビック大ホール
バッハ／ロ短調ミサ曲
- 2006年 2月 《オランダ・アムステルダム演奏旅行》参加 コンセルト・ヘボウ ベートーヴェン／第九
- 2006年 5月13日 【第9回定期演奏会】文京シビック大ホール バッハ／ヨハネ受難曲
- 2008年 2月10日 【第10回定期演奏会】文京シビック大ホール バッハ／マタイ受難曲
- 2008年 3月16日 《ドイツ演奏旅行》ベルリンフィルハーモニー室内楽ホール バッハ／マタイ受難曲
- 2009年 9月23日 【第11回定期演奏会】文京シビック大ホール メンデルスゾーン／パウルス
- 2009年11月17日 《教会コンサートシリーズ レクイエム演奏会》参加 東京カテドラル聖マリア大聖堂
モーツァルト／ラクリモーザ他
- 2010年 6月12日 《合唱の祭典 合唱指揮者の系譜Vol.5 佐々金治》参加 北とぴあ さくらホール
バッハ／マタイ受難曲 終曲
- 2010年 7月30日 《ザルツブルク音楽祭90周年記念演奏会》参加 ザルツブルク大聖堂 モーツァルト／レクイエム
- 2011年 5月29日 【第12回定期演奏会】文京シビック大ホール メンデルスゾーンの祭典／詩篇42篇
最初のヴァルプルギスの夜 交響曲「讚歌」
- 2011年 9月11日 《東日本大震災&9・11日米合同チャリティーコンサートinニューヨーク》参加 ニューヨークリバーサイド大聖堂 モーツァルト／レクイエム他

東京バッハ・カンタータ・アンサンブル

東京バッハ・カンタータ・アンサンブルは、東京芸術大学の学内サークルとして小林道夫氏のもとで活発な活動を続けるバッハ・カンタータ・クラブのOBを中心に、有志が集まって結成された。メンバーは各自それぞれがソリスト、室内楽、オーケストラ等、各方面で活動している為多少流動的ではあるが、活動開始から30年余りを経て、バッハ、ヘンデルを中心としたバロック音楽の演奏研究団体として、その様式感にのっとった生き生きとした演奏には定評がある。これまでにW・ヤーコプ、H・ヴィンシャーマン、E・ヴァイアント、H. J・ロッチュ、P・ノイマン、H. R・ドレンゲマン、八尋和美、小林道夫、黒岩英臣、佐々木正利氏等、内外の演奏家をはじめ、全国各地の合唱団と共演している。文京シティ・コアとは12回目の共演となる。

【ホームページ】 <http://www.tokio-bach-kantaten-ensemble.com/>

練習指導者プロフィール

練習ピアニスト

田 城 章 子

東京学芸大学教育学部音楽科ピアノ専攻卒業。同大学院修士課程修了。浅井雅子、黒川文子、平田小百合の各氏に師事。水戸芸術館開館記念コンサートに出演。1990年茨城県芸術祭にて特賞受賞。現在合唱団数団体のピアニストとして、主にバッハを中心とする宗教音楽の伴奏をする機会を得ている他、ピアノ指導、ソロ、アンサンブル、伴奏等で幅広く活動している。東京学芸大学非常勤講師。

練習指導

宮 腰 敬 一

東京都出身。明海大学日本語学科卒業。神田外語大学大学院中退。尚美学園大学声楽コース卒業。角丸裕氏、辻秀幸氏に師事。クロスロード・アカデミー・コア、声楽アンサンブル ザ・ソングスターズメンバー。洗足学園音楽大学演奏補助要員。杉並オラトリオ合唱団副指揮者。文京シティ・コア、奥沢オラトリオ合唱団トレーナー。

練習指導

望 月 あさ子

東京学芸大学教育学部音楽科声楽専攻卒業。声楽を竹沢喜明、大野徹也、発声法を高橋康人、合唱法、指揮法を伊藤栄一、各氏に師事。現在多くの合唱団のヴォイストレーナーとして活動中。日本音楽高等学校非常勤講師。

ドイツ語指導

村田インゲボルク

北ドイツの木組みの家の街並みで有名なツェレの出身。ボン大学で日本学を学ぶ。

ドイツ文学者故村田経和氏と結婚、来日。NHKラジオ・TVのドイツ語放送に出演。

独協大学・成蹊大学などで講師を歴任。ドイツ語辞書やテキストなどの編纂に従事。

一方育児をこなしながら、合唱団員として活躍し、これまでにバッハのマタイ受難曲・ヨハネ受難曲・ミサ曲口短調・クリスマスオラトリオを始め、シュッツ、モーツァルトなど数々の名曲を歌っている。

先年、辻秀幸氏の指揮でバッハのモテットを歌い、その縁で文京シティ・コアでドイツ語の指導に携わることとなった。

- 2011年10月10日 《東日本大震災&9・11チャリティコンサートin東京》参加 ティアラこうとう モーツァルト/レクイエム他
- 2012年 4月15日 《東日本大震災復興支援プロジェクト ♪岩手で♪歌おう！共に！》参加 盛岡市都南文化会館 アヴェ・ヴェルム・コルプス 「水のいのち」より
- 2012年 9月13日 《難民を助ける会チャリティコンサート 忘れないで3・11》参加 サントリー大ホール モーツァルト/レクイエム
- 2013年 2月 3日 【第13回定期演奏会】 紀尾井ホール ハイドン/十字架上のキリストの最後の七つの言葉 メンデルスゾーン/キリスト 我らに平安を与えたまえ
- 2014年 4月29日 【第14回定期演奏会】 文京シビック大ホール ブラームス/ドイツ・レクイエム 運命の歌

合唱指導：辻 秀幸
宮腰 敬一 望月あさ子

練習ピアニスト：田城 章子

ドイツ語指導：村田インゲボルク

ソプラノ

青山 香 浅倉 好子 芦荊 宏子 渥美 鷹子 阿部 英子 天野 玄 飯嶋 宏子 石丸 啓子
井上 裕子 植木 暁子 白田 澄 江川久美子 大橋千枝子 大森みま子 岡本 和代 奥村 都子
長田 光枝 川西 久子 北嶋 恭子 木村 道子 木村 裕子 子井野真貴子 斎藤 秀子 鈴木 千恵
千石 史子 塚本 恵子 豊田富士子 中村 恵子 橋本 和代 早川 静郁 林 ひとみ 久松由喜枝
平野 揺子 藤田みよ子 文伝 正子 三國伊津子 宮田 泰子 村井 暁子 望月あさ子 本宮 廉子
矢部マリ子 山口 貞子

アルト

会田登志子 安藤 玲子 村田インゲボルク 内田 慶子 梅田恵理子 梅野 幸枝 岡田 光子 岡戸 久枝
奥田 典子 奥野 恵子 奥野 文子 奥山 博子 小山内勝子 尾崎 辰子 海宝 敏子 加藤 道子
金井 恭子 清野 淑子 小阪亜矢子 斉藤 章子 下條 純子 白石 和枝 高林 春代 田中美智子
中屋美佐子 野依由美子 長谷川宏子 初田恵美子 初田美穂子 平塚喜代子 福井 妙子 堀岡美也子
三武 桂子 三輪安紀子 村地 淳子 元川 洋代

テノール

岩田 浩司 加藤 昌範 木下 進 小沼俊太郎 塚本 晃 中條 良 中村 元信 藤田 世紀
甫喜本克也 松永 国和 宮腰 敬一 村上 浩太 山崎 敏弥 吉田 邦彦

バス

秋山 賢一 石川 仁 石川 幸良 伊東 克能 伊藤 俊介 風間 公司 小藤 洋平 古道 昌男
鈴木 壮介 高倉 輝彦 長野 博明 丹羽 達士 平田 利幸 淵本 正隆 武藤 進 村瀬 欽也
谷中 俊夫 藪田敬次郎 吉田 邦光 吉富 六郎

〈表紙等デザイン〉バス谷中 俊夫

〈字幕スーパー〉編集/バス丹羽 達士

ソプラノ村井 暁子

作成・オペレーター/佃 良次郎

ご冥福をお祈りいたします アルト/岡田 淳子様



♪ 一緒に歌いませんか!!

次回定演曲 エマヌエル・バッハ／イエスの復活と昇天

練習／毎週金曜日 18:50~20:50 5/9 スタート

窪町小学校(丸の内線茗荷谷駅前)他 会費¥4,000

連絡先／宮田 3821-4570

(今後の練習日程はホームページをご覧ください。)

【ホームページ】 <http://www.bunkyocitychor.com/>